

科目名	ベーシックレッスン 2							年度	2025
英語科目名	Basic lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 ヴォーカリストコース 1年次	必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	小野正利・MARI・山路浩加・青木千春・平山雅月・早川咲・青野りえ	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン		
【科目の目的】 自分の身体の使い方を知り、安定した声を身につける。特定の声の種類と、その声を使用しているアーティストを把握し、ヴォーカルテクニックの基礎レッスンを通じて学んだ楽曲を発声の観点から分析する。ヴォーカリストとしての基礎力を養うために基礎レッスンを受け、音楽全般に関する基礎知識を身につける。ソロやバンドに合わせてトレーニングを実施し、様々なオーディションやコンテストに備え、進行方法を学び、実践する。									
【科目の概要】 この授業は、ボーカリストとして必要なスキルを総合的に習得するための授業です。一週間の時間割はテーマごとに細分化されており、「ボーカルレッスン1」「ボーカルレッスン2」「ボイストレーニング」「ボーカルアンサンブル」「コーラス」「楽器レッスン」「DTM」の7つに分かれます。※下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「ベーシックレッスン2」も同様である。※楽器レッスン「Guitar」「Piano」の内一つを選択する。									
【到達目標】 A. 音感トレーニングを実践できる B. 楽器レッスンの各専攻パートの基本的な技術と知識を習得できる C. DTMの基本的な技術と知識を習得できる D. オリジナル楽曲を完成させることができる E. 発表会でベストパフォーマンスできる									
【授業の注意点】 この科目は開講曜日により担当教員が異なります。専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力				
到達目標 A	ボイスエクササイズを実践でき、日常的に継続できる		ボイスエクササイズを実践できる					到達目標についてさらなる努力が必要	
到達目標 B	発声の基本的なメカニズムを理解でき、簡潔に説明できる		発声の基本的なメカニズムを理解できる					到達目標についてさらなる努力が必要	
到達目標 C	ステージ上の音量バランスを調整でき、細かい指示を出せる		ステージ上の音量バランスを調整できる					到達目標についてさらなる努力が必要	
到達目標 D	3声のコーラスワークができ、周りとのバランスを意識できる		3声のコーラスワークができる					到達目標についてさらなる努力が必要	
到達目標 E	発表会でベストパフォーマンスでき、次の目標を設定できる		発表会でベストパフォーマンスできる					到達目標についてさらなる努力が必要	
【教科書】 適時、講師より教材を配布する。									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ベーシックレッスン2				年度	2025
英語表記		Basic lesson 2				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	レコーディング	レコーディングができるようになる	1	モニターバランス	モニターバランスを調整できる	3	
			2	マイキング	マイキングができる		
			3	パンチイン	パンチインRecができる		
2	ボーカルレッスン2①	様々な呼吸法(プレス)について学ぶ	1	腹式呼吸	腹式呼吸を実践できる	3	
			2	ロングプレス	ロングプレスを実践できる		
			3	ショートプレス	ショートプレスを実践できる		
3	ボーカルレッスン2②	発音の種類の理解と滑舌トレーニング	1	母音と子音	母音と子音の発音について理解できる	3	
			2	濁音と鼻濁音	濁音と鼻濁音の発音について理解できる		
			3	無声音と有声音	無声音と有声音について理解できる		
4	ボーカルレッスン2③	音感トレーニング	1	ピッチの聴き取り	自分のピッチがシャープ/フラットしているかを自覚できる	3	
			2	スケール練習	ピッチコントロールの正確性を向上できる		
			3	コードの響き	コードの響きに適応するピッチコントロールができる		
5	楽器レッスン①	基礎知識を学ぶ	Da	ウォームアップ	ストレッチ、アイソレーションができる	3	
			Gt	正しいフォーム	演奏時の正しいフォームについて理解できる		
			Pf	正しいフォーム	演奏時の正しいフォームについて理解できる		
6	楽器レッスン②	基礎練習をする①	Da	ダウンアップ	ダウン、アップのリズムの取り方を理解できる	3	
			Gt	コードの押さえ方	各種コードの押さえ方を理解できる		
			Pf	コードの押さえ方	各種コードの押さえ方を理解できる		
7	楽器レッスン③	基礎練習をする②	Da	ステップ練習	基礎的なステップができる	3	
			Gt	既存曲の演奏	スムーズなコードチェンジを行えるようになる		
			Pf	既存曲の演奏	スムーズなコードチェンジを行えるようになる		
8	DTM①	DTMの基本動作を学ぶ①	1	DTMソフト	DTMソフトの概要を理解できる	3	
			2	起動	ソフトの起動ができる		
			3	保存/終了	データの保存、ソフトの終了ができる		
9	DTM②	DTMの基本動作を学ぶ②	1	セッション作成	セッションを作成できる	3	
			2	パート作成	パートを作成できる		
			3	トラック作成	トラックを作成できる		
10	DTM③	DTMの基本動作を学ぶ③	1	プラグイン挿入	プラグインを挿入できる	3	
			2	MIDI打ち込み	MIDIの打ち込みができる		
			3	ドラム打ち込み	ドラムの打ち込みができる		
11	オリジナル作品制作①	楽曲を1コーラス作成する	1	メロディ作成	メロディを作成できる	3	
			2	歌詞作成	歌詞を作成できる		
			3	コード付け	メロディに対してコード付けができる		
12	オリジナル作品制作②	4リズムのアレンジをする	1	ドラム	ドラムパートを作成できる	3	
			2	ベース	ベースパートを作成できる		
			3	ピアノ、ギター	ピアノ、ギターパートを作成できる		
13	オリジナル作品制作③	全体の構成とアレンジを完成させる	1	全体の構成	全体の構成を完成させられる	3	
			2	アレンジ	全体のアレンジを完成させられる		
			3	レコーディング	ボーカルパートをレコーディングできる		
14	発表会準備	発表会の準備をする	1	パフォーマンス指導	ステージパフォーマンスを改善できる	3	
			2	歌唱指導	歌唱について改善できる		
			3	オケ制作	使用するオケを制作、準備できる		
15	発表会	発表会を実施する	1	リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる	3	
			2	本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3	講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
 自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等